

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催いたします。
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
公告方法	電子公告により行います。 ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載して行います。 <a href="http://www.tokyo-airport-bldg.co.jp/company/ir/">http://www.tokyo-airport-bldg.co.jp/company/ir/</a>
株主名簿 管理人	〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱所	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL:0120-288-324(フリーダイヤル)

### 各種お手続きのお取扱窓口について

住所変更や買取・買増請求等株主さまの各種お手続きのお取扱窓口は以下の通りです。

- (1) 証券会社等に口座をお持ちの場合  
お取引の証券会社等になります。
- (2) 証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)

#### 電話でのお問い合わせ

**みずほ信託銀行株式会社 証券代行部**  
TEL:0120-288-324(フリーダイヤル)

※土・日・祝日を除く9:00~17:00

- ・各種手続きお取扱店

#### みずほ証券

本店および全国各支店  
プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)でもお取り扱いいたします。

#### みずほ信託銀行

本店および全国各支店  
※トラストラウンジではお取り扱いできませんのでご了承ください。

### 単元未満株式(100株に満たない株式)の買取請求・買増請求のご案内

単元未満株式(100株に満たない株式)は、市場での売買ができません。以下の方法にてご所有の単元未満株式を整理することができますので、ご案内いたします。

#### 買取請求

当社に対し、買取請求(ご売却)していただくことで、ご所有の単元未満株式を代金と引き換えることができます。

#### 買増請求

ご所有の単元未満株式につき、1単元(100株)までの不足分を当社に対し買増請求していただくことで、単元株式とすることができます。

「単元未満株式の買取請求」または「単元未満株式の買増請求」を希望する株主さまは、上記のお取扱窓口へお問い合わせください。手数料はいずれも無料です。

#### 買増請求の具体例

現在70株ご所有の場合、30株を当社から買増することにより1単元(100株)にすることができます。



VOC(揮発性有機化合物)成分ゼロの100%植物油のインクおよびFSC®認証紙を使用し、印刷工程で有害廃液を出さない[水なし印刷方式]を採用しています。



日本空港ビルディング株式会社  
Japan Airport Terminal Co., Ltd.

〒144-0041 東京都大田区羽田空港三丁目3番2号(第1旅客ターミナルビル)

TEL:03-5757-8000(代表)

<http://www.tokyo-airport-bldg.co.jp/company/>

日本空港ビルディング株式会社  
Japan Airport Terminal Co., Ltd.

証券コード: 9706



株主・投資家の皆さまへ

## 第72期 株主通信

2015年4月1日~2016年3月31日



# お客さまから信頼され続ける世界ナンバーワン品質の 旅客ターミナルビルを目指し、 航空輸送の発展に貢献してまいります。



代表取締役会長兼CEO

鷹城 勲

代表取締役社長執行役員兼COO

横田 信秋

2016年6月29日開催の第72回定時株主総会の承認を経て、その後の取締役会において、鷹城 勲が代表取締役会長兼CEOに、横田 信秋が代表取締役社長執行役員兼COOにそれぞれ就任することが決定いたしました。

今後は、新経営体制のもとで「長期ビジョン」として掲げた“世界で最も評価される空港”を目指し、当社の存在意義や社会的使命を強く意識し、顧客価値を一段と向上させるとともに、組織ガバナンスの強化と各事業の効率化を図り、新中期経営計画を着実に実行してまいります。



航空業界における事業環境と旅客動向について教えてください。



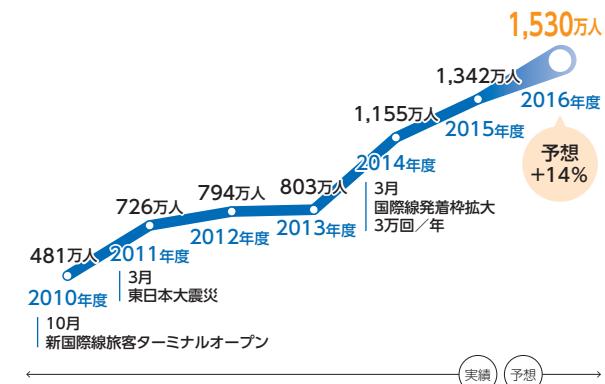
羽田国際便の増便などにより、引き続き訪日外国人旅客数の増加が予測されます。

官民挙げての各施策の効果もあり、昨年には2020年の政府目標であった訪日外国人旅客数2,000万人を概ね達成するなど、訪日インバウンド需要は拡大し、また、同年の訪日外国人の旅行消費額は、前年比7割増の約3兆円となるなど、今後もさらに拡大していくことが期待されます。航空業界におきましては、本年冬ダイヤから就航が予定される羽田国際線におけるアメリカ便の増便や、成田、関空ではLCCをはじめとする増便もあり、引き続き国際線を中心とした航空旅客需要の増加が見込まれます。

政府は、本年3月に「観光先進国」という新たなスローガンを掲げて、2020年の目標値を4,000万人へ大幅に上方修正しました。

今後は東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催を控え、これに応じた羽田国際線発着枠の拡大といった首都圏空港機能強化の具体化に向けた動きもあり、こうした環境は当社グループにとっても大きな成長の機会と捉えております。

## 羽田空港国際線旅客数



前中期経営計画(2013年度～2015年度)について教えてください。



訪日需要を取り込んだ各施策の効果もあり、当初目標、修正目標を1年前倒しで達成いたしました。

「羽田空港の更なる進化への取り組みと新しい空港運営の未来に向けた事業基盤の強化」をテーマとした前中期経営計画に、グループ一丸となって取り組んでまいりました。

この3年間の航空業界の環境を見ますと、オープンスカイ、LCC参入促進、空港経営改革の3点が航空分野における国家成長戦略として強力に推進され、羽田空港は、国内線の発着枠が2013年に2万回、国際線の発着枠が2014年に3万回それぞれ拡大し、便数、旅客数ともに順調に推移しました。

このような環境の中、前中期経営計画で掲げた数値目標につきましては、訪日需要を取り込んだ各施策の効果もあり、旅客数以上の売上成長率を実現し、最終年度の当初目標、修正目標のいずれも1年前倒しで達成することができました。

数値目標以外の課題につきましては、『羽田国際化への対応』、『新しい空港運営の未来の構築』、『事業収益性の改善』、



ロイヤルパークホテル ザ 羽田



ロボットスーツHAL\*作業支援用(腰タイプ)

『人材・組織力の強化』の4つの戦略骨子に基づき取り組んでまいりました。

具体的には、国際線国内線乗り継ぎ施設の整備や「ロイヤルパークホテル ザ 羽田」の開業などに取り組むとともに、英国のSKYTRAX社が実施する「Global Airport Ranking 2015」において、日本の空港では初めて2年連続で世界最高水準である「5スターエアポート」を獲得するなど、羽田空港の価値向上に努めてまいりました。

また、空港における次世代型ロボットの導入や、沖縄以外では日本初の空港型市中免税店を開業し、当社の事業基盤は着実に強化され、2016年度に向けて大きな弾みをつけることができたと考えております。

一方、この3年間で新たな課題も見えてまいりました。

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催決定による羽田発着枠の拡大などに伴う大規模設備投資への対応。また、収益面では、昨年上期まで順調に推移していた、訪日中国人旅客を中心とした高額商品のいわゆる“爆買い”が、下期以降沈静化してきたことから、空港型市中免税店を含めた免税事業を中心とする訪日外国人の購買需要低下リスクへの対応。そして、仙台空港を皮切りに、さらに進展する空港経営改革への対応など、新たな中期経営計画における課題と強く認識をしているところです。

### 前中期経営計画(2013年度～2015年度)の達成状況

	当初目標値	修正目標値	実績			達成状況 (修正目標値に対して)
	2013年5月策定	2014年11月策定	2013年度	2014年度	2015年度	
連結営業利益	80億円	90億円	61億円	98億円	113億円	達成
EBITDA (償却前営業利益)	205億円	216億円	194億円	217億円	225億円	達成
連結営業利益率	5%超	5.2%超	4.2%	5.7%	5.5%	達成
配当	13円以上	13円以上	13円	21円	33円	達成
自己資本比率	50%以上	50%以上	54.1%	50.2%	52.1%	達成

**Q** 今後、当社グループを取り巻く環境と今期の取り組みについて教えてください。

**A** 不安定な国際情勢や競合他社の市場参入など、複雑かつ不確実性の高い経営環境に対応した経営戦略へ転換し、羽田空港の“あるべき姿”を追求いたします。

2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催、首都圏空港機能強化に向けた発着枠の拡大、政府の掲げる観光立国や地方創生の推進など、日本の経済活力を向上させていく上でも、ますます、羽田空港の担う役割と重要性は高まるなど、当社グループを取り巻く環境は大きく変化しています。

こうした環境変化は、当社グループにとっても大きな成長機会である一方で、国内景気の先行き不透明感や中国をはじめとする新興国の成長鈍化や地政学リスクの常態化により、航空需要の見通しは不確実な状況にあります。

今後も訪日需要の成長が期待される中でも、グローバルベースの事業環境の複雑性や不確実性を踏まえ、訪日需要への依存度の高まりや、首都圏空港への依存度の高まりに対するリスクを回避していくために、海外を含めたその他の地域、あるいは新規事業の機会を的確に捉え、羽田を中核とした地域間シナジーの創出を実現していくことで、羽田空港の収益規模を成長

させつつ、事業・地域ポートフォリオの最適化を図ってまいりたいと考えております。

今期は、2016年度から2020年度までの5年間で計画期間とする新たな中期経営計画の初年度となります。新中期経営計画では、全てのステークホルダーの皆さまに最高に満足していただける空港を目指し、決して現状に満足することなく、全役職員が常に進化する姿勢を持ち、航空会社はじめ関係事業者と一体になって、「オール羽田」で世界に誇れる羽田ブランドを確立し、ターミナルビルの“あるべき姿”を追求してまいります。

**Q** 株主の皆さまへのメッセージをお願いします。

**A** SKYTRAX社による高い評価に満足することなく、世界ナンバーワン品質の旅客ターミナルビルを目指します。

羽田空港旅客ターミナルは開館60周年を迎えた節目に当たる昨年、英国SKYTRAX社より2年連続で世界最高水準の旅客ターミナルビルであると評価され、「5スターエアポート」を受賞しました。また、本年3月には、国内線空港総合評価部門、空港の清潔さなどを評価する部門の2部門で世界第1位の評価をいただきました。今後もこれに満足することなく、まずは、2020年に控える東京オリンピック・パラリンピックに向けて、今まで以上に羽田空港全体で連携しながら、空港を利用されるお客さまを第一に考え、安全性はもちろん、利便性、快適性および機能性に優れたサービスを提供し、お客さまから信頼され続ける世



SKYTRAX社 World Airport Award 2016 授与式

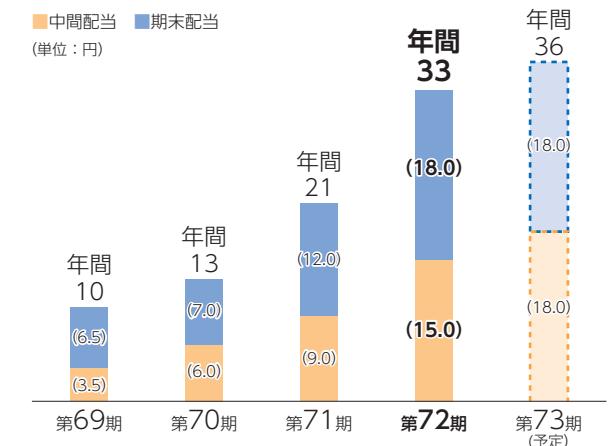
界ナンバーワン品質の旅客ターミナルを目指し、航空輸送の発展に貢献してまいりたいと考えております。

また、株主の皆さまへの利益還元につきましては、羽田空港の一層の機能強化が求められる中、今後の大規模投資を考慮して内部留保を確保すると同時に、安定した配当を継続して実施することを基本方針としております。期末配当金につきましては、昨年10月の修正予想では1株当たり15円と予想しておりましたが、訪日外国人の増加を取り込んだことなどにより、売上、利益ともに過去最高となったことから、修正予想から3円増配し、18円とすることにいたしました。これにより、中間配当金15円と合わせた年間配当金は、目標とする配当性向30%以上となる、1株当たり33円となります。

なお、今期の配当予想は、訪日外国人の消費動向の変化や新中期経営計画期間中の設備投資を勘案しつつも、安定配当の観点から、期末配当金の1株当たり18円を維持することを目標とし、中間配当金、期末配当金のいずれも18円とし、年間配当金36円とする予定でございますが、配当性向30%以上を念頭に置きながら、業績等を総合的に勘案して決定することといたします。

株主の皆さまには、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 1株当たり配当金の推移



# 新中期経営計画(2016年度～2020年度) 「To Be a World Best Airport 2020」

## 長期ビジョン 「To Be a World Best Airport」世界で最も評価される空港

当社グループが目指すものは、お客さま、航空会社さま、株主さま、社員、そしてコミュニティと、あらゆるステークホルダーの方々から支持、評価されるターミナル運営、すなわち、羽田空港が全ての方々から選ばれる“世界No.1空港”としての評価をいただくことです。

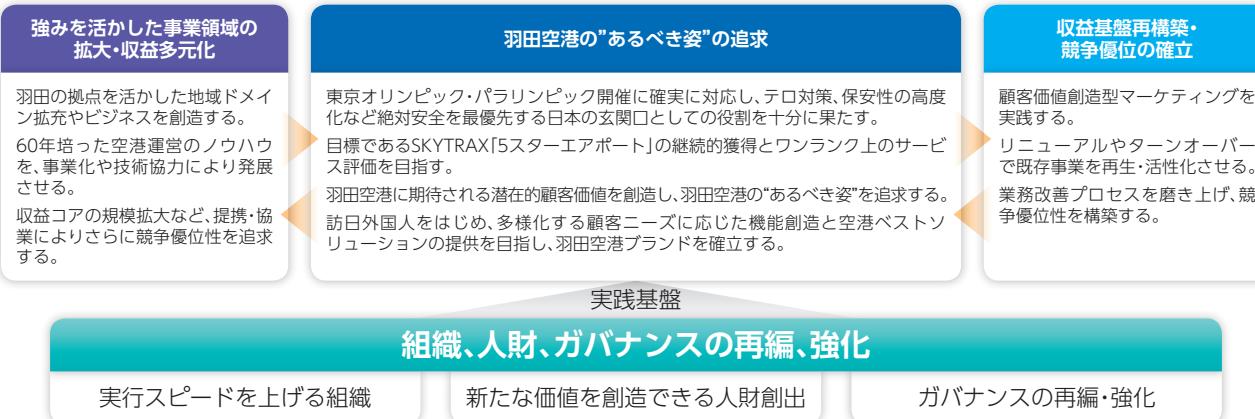
この目標に向けて、新たな中期経営計画「To Be a World Best Airport 2020」を策定いたしました。長期ビジョンとして掲げた“世界で最も評価される空港”を目指し、当社の存在意義や社会的使命を強く意識し、顧客価値を一段と向上させるとともに、組織ガバナンスの強化と各事業の効率化を図り、中期経営計画を着実に実行してまいります。



## 新中期経営計画(2016～2020) 「To Be a World Best Airport 2020」

東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年に向け、さらに、日本空港ビルグループは、羽田空港の“あるべき姿”を追求し続けることで、**お客さまから一番に選ばれる羽田空港会社を目指します。**

### 戦略の3本の柱



## ガイドライン(目標指標)

『世界No.1 空港』を目指すグローバル視点から、SKYTRAXトップ10空港の平均値を目標値とする。

### 2020年度ターゲット

指標分類	使用する指標	目標値
総合力指標	ROA(事業の効率)	ROA(経常利益): 8%
収益性指標	EBITDA(グローバルキャッシュベース指標)	ROA(EBITDA): 12%
安定性指標	自己資本比率	自己資本比率: 50%以上
成長性指標	SKYTRAX	SKYTRAX評価順位: TOP3
株主還元指標	配当性向	配当性向: 30%以上

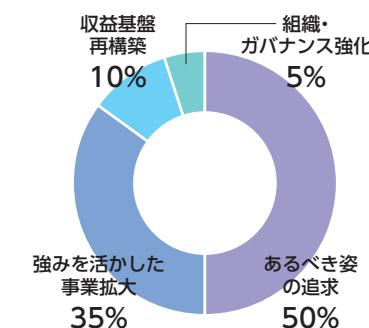
### SKYTRAX社 ランキング[World's Best Airports 2016]

順位	空港名
1	シンガポール・チャンギ空港
2	仁川国際空港
3	ミュンヘン国際空港
4	羽田空港
5	香港国際空港

## 投資計画(2016～2018)※

東京オリンピック・パラリンピックの開催や首都圏空港機能強化に伴う施設整備等に対応するなど、1,000億円の成長投資を実施してまいります。

羽田空港の“あるべき姿”の追求	500億円
東京オリンピック・パラリンピック対応、保安レベルの向上、ユニバーサルデザイン等	
強みを活かした事業領域の拡大・収益多元化	350億円
海外空港運営参加 国内空港コンセッション参加、機内食事業の拡大	
収益基盤の再構築・競争優位の確立	100億円
エアポートラウンジリニューアル、T1マーケットプレイスリニューアル等	
組織・ガバナンスの再編・強化	50億円
グループ会社を含むIT環境の統合、独身寮の確保等	
合計	1,000億円



## 収支計画(2016～2018)※

● 2020年度以降の成長を見据えた適切な設備投資を実行しつつ、現在の旺盛な訪日需要を取り込み、グループ収益基盤を強化し、連結営業利益率5%台を維持しながら、2020年度の目標指標の達成を目指してまいります。

### 【連結】

	2015年度(実績)	2016年度(目標)	2017年度(目標)	2018年度(目標)
施設管理運営業	528	534	540	545
物品販売業	1,337	1,494	1,575	1,645
飲食業	175	182	185	190
計	2,041	2,210	2,300	2,380
営業利益(億円)	113	129	135	140
営業利益率(%)	5.5	5.8	5.9	5.9
経常利益(億円)	136	156	170	200
親会社株主に帰属する当期純利益(億円)	88	111	120	140
ROA(経常利益)(%)	6.2	6.8	7.0	7.9
ROA(EBITDA)(%)	10.2	10.7	11.4	11.0
自己資本比率(%)	52.1	51.6	54.8	53.3

※投資計画および収支計画については、羽田国際線3.9万回の増枠実現により相応の旅客数と一定規模の設備投資が見込まれるもの、現時点では不確定要素が多いことから、両計画の算定期間については、2016年度～2018年度の3カ年としております。

# 特集1 日本初の空港型市中免税店「Japan Duty Free GINZA」が三越銀座店8階にオープン

2016年1月27日、三越銀座店8階にオープンしたJapan Duty Free GINZAは、東京の中心的な商業地であり、外国人旅行者にも人気が高い銀座にあって、空港の免税ショップ同様の買い物ができる沖縄以外では日本初の空港型市中免税店です。

日本人、外国人を問わず、日本（羽田空港または成田空港）から出国する旅行者が購入することができ、当社株主優待券\*もご利用可能です。

また、日本免税店初出店の旬なブランドもあり、今までになく新鮮で魅力的なお買い物がお楽しみいただけます。

\*株主優待券は、一部ご利用いただけないブランドがございます。



## 免税対象範囲

	免税対象				免税対象者
	消費税	関税	酒税	たばこ税	
空港型市中免税店 「Japan Duty Free GINZA」	○	○	○	○	日本から出国する旅行者
空港内免税ショップ	○	○	○	○	
街中の消費税免税店	○	×	×	×	日本から出国する外国人 (海外居住日本人含む)

## ■ Japan Duty Free GINZAのご利用方法

### 購入可能な期間

出発日の1カ月前から前日まで ※ただし、羽田空港で0:00～5:59の時間帯に出発する便を利用する場合、前々日までの購入となります。

### 購入と受け取りの方法 ～お買い物は銀座で、お受け取りは空港で～

**Japan Duty Free GINZA**

- 店舗のレセプションカウンターでパスポートや航空券などを提示し、ショッピングホルダーを受け取ります。
- フロア（三越銀座店8階）で商品を選びます。
- レジでショッピングホルダーを提示し、商品を購入します。会計を済ませると、輸出確認書（引換券）が発行されます。

レセプションカウンター

ショッピングホルダー

**羽田空港または成田空港**

- 羽田空港または成田空港にて出国手続き後、「市中免税店引き渡しカウンター」でご本人さまがパスポートと搭乗券、輸出確認書（引換券）を提示し、商品を受け取ります。

市中免税店引き渡しカウンター（写真は羽田空港国際線）

# 特集2 Air BIC CAMERA がオープン



開店セレモニー

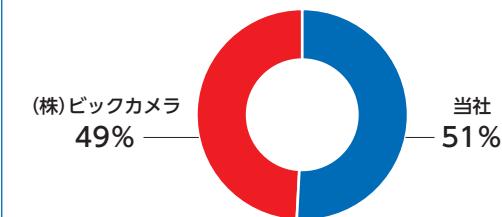


2016年4月27日、羽田空港国際線旅客ターミナル2階に、「Air BIC CAMERA」がオープンしました。

同店は、空港内にあるという立地特性を生かし、家電製品を中心に医薬品、日用品、カメラ、時計など、外国人旅客に人気のアイテムを取り揃えたセレクトショップです。日本から出国する日本人旅客向けに、旅行用品もご用意しており、ご出発の直前までお買い物をお楽しみいただけます。

## ■ 合併会社の概要

- 商号 Air BIC株式会社
- 本店所在地 東京都大田区羽田空港3丁目3番2号（第1旅客ターミナルビル）
- 資本金 1億円
- 出資比率



## ■ 店舗概要

店舗名称	Air BIC CAMERA 羽田空港国際線ターミナル店
出店場所	羽田空港国際線旅客ターミナル2階 (売場面積約300㎡)
営業時間	7:00～22:00
取扱商品	家電製品、医薬品、日用品、カメラ、時計、旅行用品、外国人旅客向けSIM ほか



## 羽田空港はSKYTRAX社の実施する 国際空港評価2部門で世界第1位！

羽田空港の国内線旅客ターミナルおよび国際線旅客ターミナルは、英国のSKYTRAX社\*1が実施する国際空港評価において、2016年の国内線空港総合評価部門で4年連続世界第1位、また、空港の清潔さなどを評価する部門で、世界第1位となりました。

さらに、空港の総合評価である「World's Best Airports」部門においては、昨年5位から4位へ順位を上げました。

今後もお客さまから信頼され続ける世界ナンバーワン品質の旅客ターミナルビルを目指し、航空輸送の発展に努めてまいります。

※1 1989年創立の英国に拠点を置く航空サービスリサーチ会社。世界の空港や航空会社の評価を行っており、評価の項目は多岐にわたっています。「WORLD AIRPORT AWARDS 2016」は2015年から2016年にかけて行った世界106カ国、1,325万人による顧客調査であり世界の550空港が含まれています。調査では、空港のチェックイン、出到着、乗り継ぎ、ショッピング、出発時のセキュリティや出国管理などにおける空港サービスとプロダクトの39項目の指標により評価されています。



ドイツ・ケルンでの授与式の様子  
右:当社 鷹城 熟会長  
左:東京国際空港ターミナル株式会社 土井 勝二社長



World's Best Domestic Airports

**世界第1位(4年連続)**

羽田空港国内線旅客ターミナル

国内線空港の総合評価部門で、羽田空港国内線旅客ターミナルの使いやすさやアクセスの良さなどが評価され、4年連続で世界第1位となりました。



The World's Cleanest Airports

**世界第1位**

羽田空港国内線・国際線旅客ターミナル

羽田空港国内線・国際線旅客ターミナルの清潔さや快適さなどが評価され、今回の受賞につながりました。

※羽田空港旅客ターミナルは、国内線第1、第2旅客ターミナルを当社、国際線旅客ターミナルを東京国際空港ターミナル株式会社がそれぞれ所有、管理・運営をしています。



PRポスター

## ユニバーサルデザインに対応した 多目的レストルームの供用を開始



多目的レストルーム外観



パウダールーム

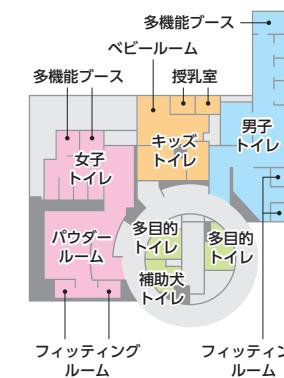


ベビールーム

ユニバーサルデザインに対応した多目的レストルームを、2016年3月31日に第1旅客ターミナル1階到着ロビー南ウイングに設置しました。

お客さまの多様なニーズに応え、フィッティングルーム、授乳室やキッズトイレ、補助犬専用トイレなどを設けたほか、車椅子のお客さまやスーツケースをお持ちのお客さまも快適にご利用いただけるよう、トイレブースに十分なスペースを確保しました。

※北ウイングは、本年7月下旬に供用を開始する予定です。



## 羽田空港船着場を利活用した横浜～羽田～ 東京都心部の舟運社会実験の実施

2014年7月に、羽田空港船着場を起点として横浜みなとみらいおよびお台場海浜公園との間を結ぶ定期航路が開通し、これにより羽田空港からお台場・横浜方面へのバスや電車で代わる新たな交通手段が加わることになりましたが、これに続き2015年9月には、羽田空港から東京都心部への舟運の可能性を検証するため、羽田空港船着場と秋葉原(万世橋)間の運航を試行的に行う社会実験が、国土交通省や千代田区、当社などで構成する「秋葉原・天王洲・羽田空港舟運プロジェクト準備会」により行われ、今後の本格的な舟運ルートの確立に向けた検証が始まり、さらに本年5月～6月には、横浜～羽田空港～水道橋(新三崎橋)ルートも検証を開始しました。

今後は、東京都が選定した「舟運活性化パートナー」として、関係者と協力しながら舟運のさらなる活性化を進めてまいります。



羽田空港船着場に接岸する新船「Jetsailor号」



## 新店舗&羽田初登場の スイーツが次々と!

NEW SHOP

日本料理・現代の名工“長島 博”監修

### カレーうどん専門店「cuud(クウド)」



cuud  
curry udon



「全国の方に、本当に美味しい一品を召し上がって欲しい」との思いから、日本料理界の「現代の名工」の一人である“長島 博”監修・指導のもと、カレーうどん専門店「cuud(クウド)」を2016年3月18日、第1旅客ターミナル2階出発ロビー南ウイングにオープンしました。和だしにスパイスを加え、季節の野菜をじっくりと煮込んで仕上げた「からさ」と「かるやかさ」が口いっぱいに広がるカレーうどんをぜひお楽しみください。

第1旅客ターミナル 2階 出発ロビー



■ 営業時間5:30-20:00



STAR SWEETS HANEDA

## 「羽田スタースイーツ」に人気ブランドが登場

■ 販売場所: 第1旅客ターミナル マーケットプレイス2階

### 1 菓游 茜庵



「四国の、そして日本の良いものをお菓子に」をコンセプトに、美食の宝庫、四国徳島から、こだわりの素材を使った愛らしい和菓子をご紹介します。

販売期間 2016/7/1~2016/9/30

### 2 HAPPY Turn's(ハッピーターンズ)



亀田製菓「ハッピーターン」のコンセプトショップ。国産米のサクサク軽い生地に和洋さまざまのパウダーをふんだんに振り掛けました。

販売期間 2016/7/1~2016/7/31

### 3 多々楽達屋



国内外の果物を人の手によってカット、乾燥した安心・安全なドライフルーツと、厳選されたナッツの専門店です。

販売期間 2016/7/1~2016/9/30

### 4 バターバター



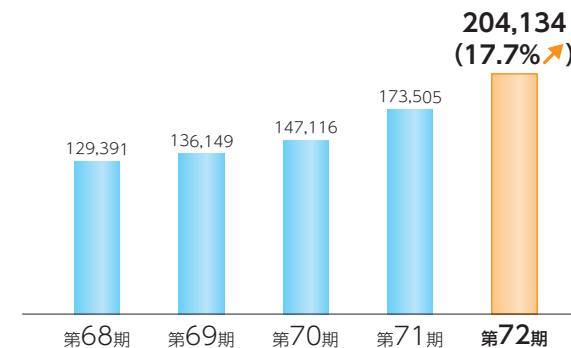
世界中の産地から選りすぐったバターでお作りした、バターが主役のスイーツをご提供いたします。

販売期間 2016/7/1~2016/9/30

## | 連結業績ハイライト

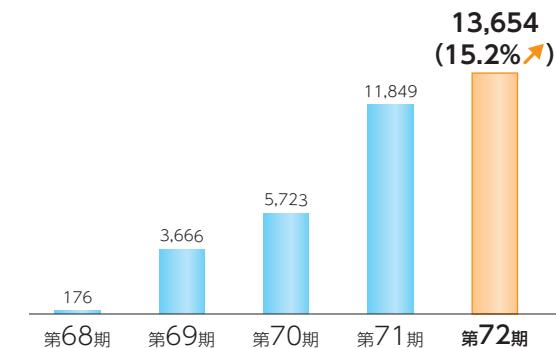
### | 営業収益

(単位:百万円)



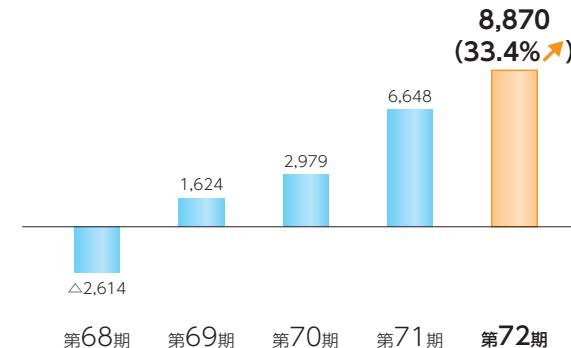
### | 経常利益

(単位:百万円)



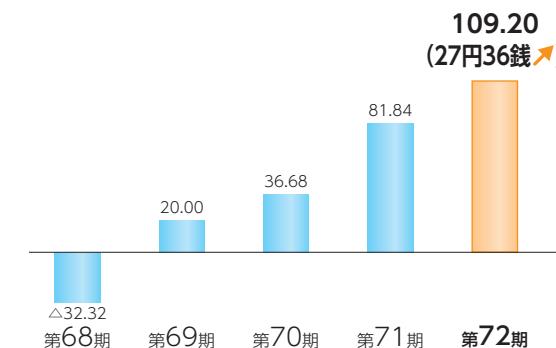
### | 親会社株主に帰属する当期純利益

(単位:百万円)



### | 1株当たり当期純利益

(単位:円)



### | セグメント別営業収益構成

#### 飲食業

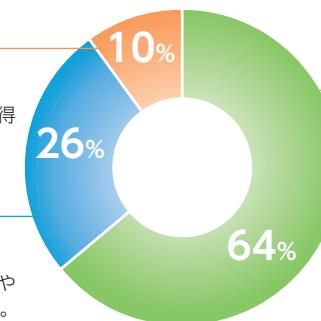
20,063百万円(前期比10.7%↑)

飲食店の新規店舗の展開、機内食の新規顧客の獲得による収入が増加。

#### 施設管理運営業

54,887百万円(前期比7.6%↑)

羽田空港国際線ターミナルビルの業務受託料収入や「ロイヤルパークホテル ザ 羽田」による収入が増加。



#### 物品販売業

134,471百万円(前期比22.9%↑)

訪日外国人旅客数の大幅な増加および訪日外国人旅客を対象とした集客施策の奏功等により、国際線売店売上とその他の売上(卸売)が大幅に増加。

※セグメント別営業収益については、連結会社間の別セグメントへの売が含まれています。

## 連結貸借対照表のポイント

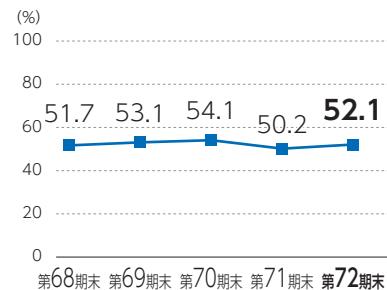
### ① 負債合計

未払費用や買掛金が増加したものの、長期借入金等が減少したことにより、前期末と比べて15億5千1百万円減少の1,041億4千8百万円となりました。

### ② 純資産合計

利益剰余金が増加したこと等により、前期末と比べ58億6千4百万円増加の1,183億9千4百万円となりました。この結果、自己資本比率は52.1%(前期末は50.2%)となりました。

### 自己資本比率



(単位:百万円)

連結貸借対照表	前期 2015年3月31日現在	当期 2016年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	69,480	74,203
固定資産	148,748	148,339
有形固定資産	109,453	106,801
無形固定資産	1,416	1,763
投資その他の資産	37,878	39,774
資産合計	218,229	222,542
<b>負債の部</b>		
流動負債	38,029	43,357
固定負債	67,669	60,790
① 負債合計	105,699	104,148

純資産の部	前期	当期
株主資本	108,808	115,512
その他の包括利益累計額	795	454
非支配株主持分	2,926	2,427
② 純資産合計	112,530	118,394
負債純資産合計	218,229	222,542

(単位:百万円)

連結損益計算書	前期 自 2014年4月 1日 至 2015年3月31日	当期 自 2015年4月 1日 至 2016年3月31日
③ 営業収益	173,505	204,134
営業総利益	83,548	94,064
④ 販売費及び一般管理費	73,659	82,761
営業利益	9,888	11,302
営業外収益	2,979	3,089
営業外費用	1,018	737
経常利益	11,849	13,654
特別利益	-	24
特別損失	330	219
税金等調整前当期純利益	11,519	13,459
法人税、住民税及び事業税	4,576	4,965
法人税等調整額	299	△31
当期純利益	6,643	8,525
非支配株主に帰属する当期純損失	△4	△344
親会社株主に帰属する当期純利益	6,648	8,870

(単位:百万円)

連結キャッシュ・フロー計算書	前期 自 2014年4月 1日 至 2015年3月31日	当期 自 2015年4月 1日 至 2016年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,520	15,235
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,008	△7,810
財務活動によるキャッシュ・フロー	16,251	△10,759
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	2
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	31,763	△3,332
現金及び現金同等物の期首残高	15,133	46,897
⑤ 現金及び現金同等物の期末残高	46,897	43,565

## 連結損益計算書のポイント

### ③ 営業収益

訪日外国人旅客の増加による国際線売店の売上増加や国際線旅客ターミナルビルにおける業務受託料収入の増加、「ロイヤルパークホテル ザ 羽田」による収入の増加等により、前期比17.7%増の2,041億3千4百万円となりました。

### ④ 販売費及び一般管理費

売上増加に伴う費用や羽田空港国際線旅客ターミナルビルでの業務委託手数料等が増加しております。

## 連結キャッシュ・フロー計算書のポイント

### ⑤ 現金及び現金同等物の期末残高

たな卸資産の増加、有形固定資産の取得に伴う支出および長期借入金の返済等により、前期末と比べ減少しております。

# 会社概要 (2016年6月29日現在)

会社概要	
商号	日本空港ビルディング株式会社 Japan Airport Terminal Co., Ltd.
設立	1953年7月20日
資本金	174億8,920万円(東証一部上場)
事業内容	(1) 羽田空港旅客ターミナルビルの建設・管理運営 (2) 物品販売業務 (3) その他のサービス業務

役員			
代表取締役会長兼CEO	鷹城 勲	監査役	小野 哲治
代表取締役社長執行役員兼COO	横田 信秋	監査役	古賀 洋一
代表取締役副社長執行役員	鈴木 久泰	監査役(非常勤)	赤井 文彌
取締役副社長執行役員	赤堀 正俊	監査役(非常勤)	竹島 一彦
専務取締役執行役員	越智 久男	監査役(非常勤)	岩井 幸司
専務取締役執行役員	米本 靖英	専務執行役員	河合 誠
専務取締役執行役員	知久 守一	常務執行役員	阿南 優樹
常務取締役執行役員	篠原 敏夫	常務執行役員	徳武 大介
常務取締役執行役員	加藤 勝也	常務執行役員	久保 健治
常務取締役執行役員	田中 一仁	常務執行役員	藤野 威
取締役(非常勤)	大西 賢	常務執行役員	小山 陽子
取締役(非常勤)	高木 茂	常務執行役員	稲葉 一雄
取締役(非常勤)	伊藤 博行	常務執行役員	田口 繁敬
取締役(非常勤)	原田 一之	執行役員	藤本 篤史
取締役(非常勤)	土井 勝二		

本社および営業所など	
本社	東京都大田区羽田空港三丁目3番2号 (第1旅客ターミナルビル)
東京事務所	東京都千代田区丸の内二丁目4番1号 (丸の内ビルディング14階)
成田営業所	千葉県成田市古込字込前164番地 (成田国際空港内コスモビル)
大阪営業所	大阪府泉南郡田尻町泉州空港中1番地
中部営業所	愛知県常滑市栄町一丁目124番地

# 日本空港ビルグループ紹介 (2016年6月29日現在)



JAPAN AIRPORT TERMINAL

1953年、当社は羽田空港の旅客ターミナルビルの建設・管理運営を目的として設立されました。

現在、当社グループは、施設管理運営業のほか、免税店などの物品販売業、空港内レストランや機内食製造・販売などの飲食業を展開しております。

## 日本空港ビルグループのCS理念

「訪れる人に安らぎを、去り行く人にしあわせを」をCS理念とし、すべてのお客さまにご満足いただけるよう、サービス向上に取り組んでいます。



- 基本理念**
- ### 公共性と企業性の調和
- 経営方針**
- 旅客ターミナルにおける絶対安全の確立
  - お客さま本位(利便性・快適性・機能性)の旅客ターミナル運営
  - 安定的かつ効率的な旅客ターミナル運営
  - 企業体質の強化およびグループ企業の総合力向上

# 株式情報 (2016年3月31日現在)

## 株式の状況

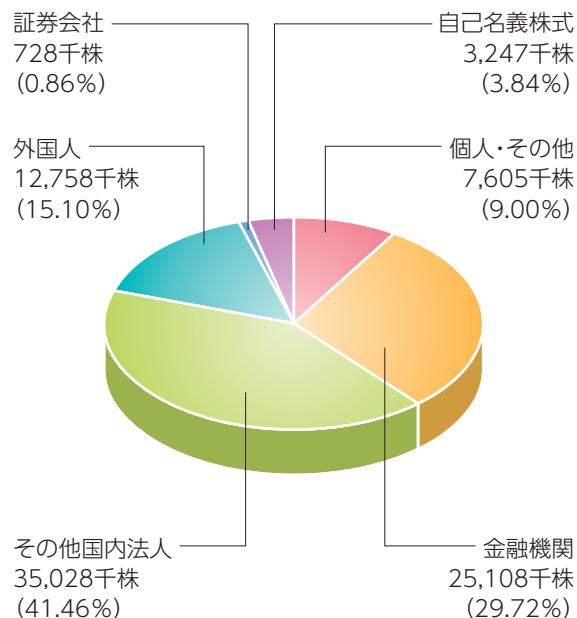
発行可能株式総数	288,000,000 株
発行済株式の総数(うち自己株式 3,247,422株)	84,476,500 株
株主数	14,132 名

## 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本航空株式会社	4,398	5.41
ANAホールディングス株式会社	4,398	5.41
MSIP CLIENT SECURITIES	4,308	5.30
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友信託銀行再信託分・ 京浜急行電鉄株式会社退職給付信託口)	3,484	4.28
株式会社三菱東京UFJ銀行	3,408	4.19
株式会社みずほ銀行	3,300	4.06
三菱地所株式会社	3,111	3.83
大成建設株式会社	2,831	3.48
日本通運株式会社	2,337	2.87
東京海上日動火災保険株式会社	2,071	2.55

(注) 持株比率は自己株式(3,247,422株)を控除して計算しております。

## 所有者別株式数分布



# 株主優待のお知らせ

当社では3月31日時点の株主さまに対して、毎年6月下旬の年1回、株主ご優待券を贈呈させていただいております。

## 優待内容

### 株主さま全員に

### 3年以上保有の株主さまに

ご所有株式数	株主ご優待券	株主ご優待割引券	長期保有優待
100株以上 1,000株未満	1枚 1,000円分 	割引券(10%引) 5枚 	VJAギフトカード1,000円券 1枚 
1,000株以上 10,000株未満	2枚 2,000円分 	割引券(10%引) 5枚 	VJAギフトカード1,000円券 2枚 
10,000株以上	3枚 3,000円分 	割引券(10%引) 5枚 	VJAギフトカード1,000円券 3枚 

## ご利用になれる店舗/対象となる株主さま

- 株主ご優待券：羽田空港旅客ターミナル内店舗をはじめとする当社指定店舗にてご利用いただけます。
- 株主ご優待割引券：羽田空港、成田空港および関西空港内等の当社指定免税売店でご利用いただけます。

### 株主ご優待券

- 羽田空港第1・第2・国際線旅客ターミナル、成田空港、関西空港の当社指定の店舗
  - Japan Duty Free GINZA(三越銀座店8階)
  - GIFTrip by JAPAN DUTY FREE(アクアシティお台場)
  - Tokyo's Tokyo(東急プラザ表参道原宿)
- ※一部店舗、商品(金券など)によってはご利用いただけない場合がございます。

### 株主ご優待割引券

- 羽田空港国際線旅客ターミナル「TIAT DUTY FREE SHOP CENTRAL店」(国際線3階出国エリア)
  - 成田空港、関西空港の当社指定店舗
  - Japan Duty Free GINZA(三越銀座店8階)
- ※店舗によっては一部ご利用いただけない商品がございます。

### 長期保有優待

- 対象: 保有継続期間が3年を超える株主さま
- (毎年3月31日現在の株主名簿に、当社株式1単元(100株)以上の株主として記載または記録され、かつ、同一株主番号で9月30日および3月31日の株主名簿に連続7回以上記載または記録された株主さま)

財務情報は、当社ホームページの「株主・投資家情報」をご覧ください。



トップページの「株主・投資家情報」をクリックしますと、決算情報や中期経営計画など、IRに関する最新の情報をご覧になることができます。

<http://www.tokyo-airport-bldg.co.jp/company/ir/>

詳しくは、同送のご利用可能店舗一覧または以下のURLをご覧ください。

[http://www.tokyo-airport-bldg.co.jp/company/ir/stock\\_information/preferential.html](http://www.tokyo-airport-bldg.co.jp/company/ir/stock_information/preferential.html)